

基本計画ライブミーティングでの主な意見

会 場 か ら の 意 見

住 環 境

- 家賃・地代が上がっている。家賃を支払うことができず、埼玉県に流出することが起きている。
- 住みやすいまちだと思うが、家賃が高い。

外 国 人

- 外国人は増加しているが、日本語を話せず、マナーが浸透しないため、日本語教育も必要ではないか。
- 町会・自治会に入っていないくても、防災や祭りなど町会・自治会のサービスを利用できてしまう。外国人は SNS 等で自国の人たちとつながるため、地域には加わらない。

そ の 他

- 身体的多様性（車椅子使用者など）も考えていかなければならない。
- 変化や施策のスピードについていくことができない人のことも視野に入れていかなければならない。
- ひとの活力、地域（エリア）の活力という考え方がある。
- 子ども・若者・高齢者・外国人・障がい者それぞれが活力を発揮できる場をつくってほしい。
- ビューティフル・ウィンドウズ運動は参加している人は知っているが、それ以外の方の認知度は低いと感じる。区の花であるチューリップによるイメージアップを提案する。
- 近所づきあいが減ってしまっている。マンション居住者などもお祭り以外に集まれる場所があると良い。
- 一年を通じて楽しめる場所があると活力が広がる。
- イメージが悪いと住み続けにくくなる。良いところをもっと外にアピールできるまちづくりが良い。

都 市 整 備

- 竹の塚の高架化は遅かった。北千住は同様に高架化しないのか。
- 行政はインフラ整備を進めるのが最優先ではないか。
- なにか施設ができるとまちの雰囲気ガラッと変わる。
- 人口流出させないための施設があると良い。
- 店舗がない・撤退している地域でもエリアデザインによって活性化することができるのではないか。
- 地域の活力として、未利用地を活用したインフラ整備を進めていただきたい。
- 北千住駅のバリアフリーが不十分のため、改善してほしい。
- 通行量が多いが、信号のない道路で横断する人がいて危ないので、信号等の整備を進めてほしい。

インターネットからの意見

都 市 整 備

- 豊かで快適なパブリックスペースを整備する。
- 竹ノ塚駅前の活性化が必要だと感じる。小売業、飲食店等がばらばらで人が寄ってくる雰囲気が乏しい。
- まちづくりの基本的な方針が年配の方向けになっているのではないかと思う。
- 横断歩道がない道路を子どもからお年寄りまで多くの人が、車が通っていない時に渡っていて危険なため、横断歩道を整備してほしい。
- 西新井駅は駅ビルもなくなってしまい、急行停車駅でありながら駅前の利便性が低く感じる。

そ の 他

- 人々が周囲の人や自然とふれあう「ふれあい政策課」をつくってほしい。足立区の良いところの共有や区民に担当の施設・職員をつける、子ども食堂の発展などの取組みを行ってほしい。
- 若い人たちがチャレンジできる環境を整えてほしい。
- 東京武道館などでコンサートを誘致するなどして活力を上げる。
- 基本計画を区民とオープンに議論するのは良い取組みだと思う。次の計画などについても、できるだけ開かれた議論をお願いしたい。
- 地域の人しか知らないフリーマーケットや朝市、盆踊り、地域運動会などのイベントがあるので、Twitter (X) やインスタグラムなどで区内・区外へ PR できると良い。
- 「共にやる人集まりませんか」といった情報発信を行政から行うのもきっかけづくりになると思う。

当日、会場で言えなかった・言い足りなかった意見

- 外国人の移住に関して、適正なルールづくりをしてほしい。
- 「住むまち」から「働くまち」「遊ぶまち」のように、「帰るまち」から「来るまち」へ転換してはどうか。
- NPO 活動など、区民による自主的な活動が人々の意識の活性化につながる。
- 若い世代の必要性を感じているのは、町会・自治会だと思う。
- 本気で 23 区の中でも特色ある足立のまちづくりを具体的に区民と共に考えていただきたい。
- 禁煙区域などで喫煙をする人が多いので、取締りや罰則の強化をしてほしい。
- 埼玉県では、エスカレーターで歩いてはいけないという条例ができたが、足立区でも同様の条例を制定してほしい。
- 企業と協力しながら、まちの開発等を行っていく。日暮里・舎人ライナーやつくばエクスプレスは運賃が高いため、補助金等の支援を行うべきだと思う。
- 高齢者の活躍の場を増やす。
- 不登校児童の行き場所を増やす。
- 子どもの生活に関して、心配や注意、自身の不満を言うことの違いを大人が理解する。
- 不登校などの原因は、親や周りの大人の圧力やコミュニケーション不足、多様性のはき違いなど、多様であることを大人が理解していない。
- ライフステージに合わせ、最善の住まいを借りて住む選択肢を提示できる施策を提案する。流動性を持たせることが活気につながる。